

令和5年11月28日

海事局内航課

**船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！**

～中・長距離フェリー、RORO 船のトラック輸送に係る積載率動向について～

国土交通省海事局ではこの度、中・長距離フェリー・RORO 船のトラック輸送に係る積載率の動向（令和5年7～9月実績）を調査したので、その結果を公表します。積載率にまだ余裕のある航路もありますので、荷主・物流事業者におかれては、今後のモーダルシフト推進に向けた検討にご活用ください。

令和5年6月2日に、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議が取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」において、「トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを強力に推進し、最適なモードを活用したモーダルコンビネーションの展開を図るために、～（中略）～フェリー積載率についての定期的な調査・荷主企業等への情報提供を行い、利用可能な輸送力について周知することにより、鉄道や船舶の利用促進及び積載率の向上を図る」とされています。

これを受け、国土交通省海事局では、令和5年8月に中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率の調査結果を公表した次第ですが、今回の調査結果を公表するにあたり、中・長距離フェリーに加えて、RORO 船についても公表いたします。

この調査は、中・長距離フェリー及びRORO 船事業者へのアンケート調査により、対象期間中（今回は令和5年7～9月）のトラック輸送に係る積載率動向の概算値を算出したものであり、今後も随時調査を実施してその結果を公表していきます。

## ○参考：積載率70%未満であった航路

中・長距離フェリー：阪神～北海道（上り下り）、阪神～北四国（上り下り）、北四国～北九州（上り下り）、  
阪神～中九州（上り下り）、阪神～南九州（上り下り）

RORO 船：東東北～北海道（上り下り）、京浜～北四国（上り）、京浜～南中国（下り）、阪神～南中国（下り）、  
南中国～北四国（下り）、北陸～北九州（上り下り）、阪神～北九州（上り下り）

※RORO 船については、現時点で協力が得られた一部事業者の数値を公表しています。

※実際には季節や曜日、ドック期間（定期整備）によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

**【問い合わせ先】**

国土交通省海事局内航課 角野、武田、仲川、内藤、笹川  
代表電話：03-5253-8111（内線 43453、43463）  
直通電話：03-5253-8627

# 中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について(令和5年7~9月) 国土交通省

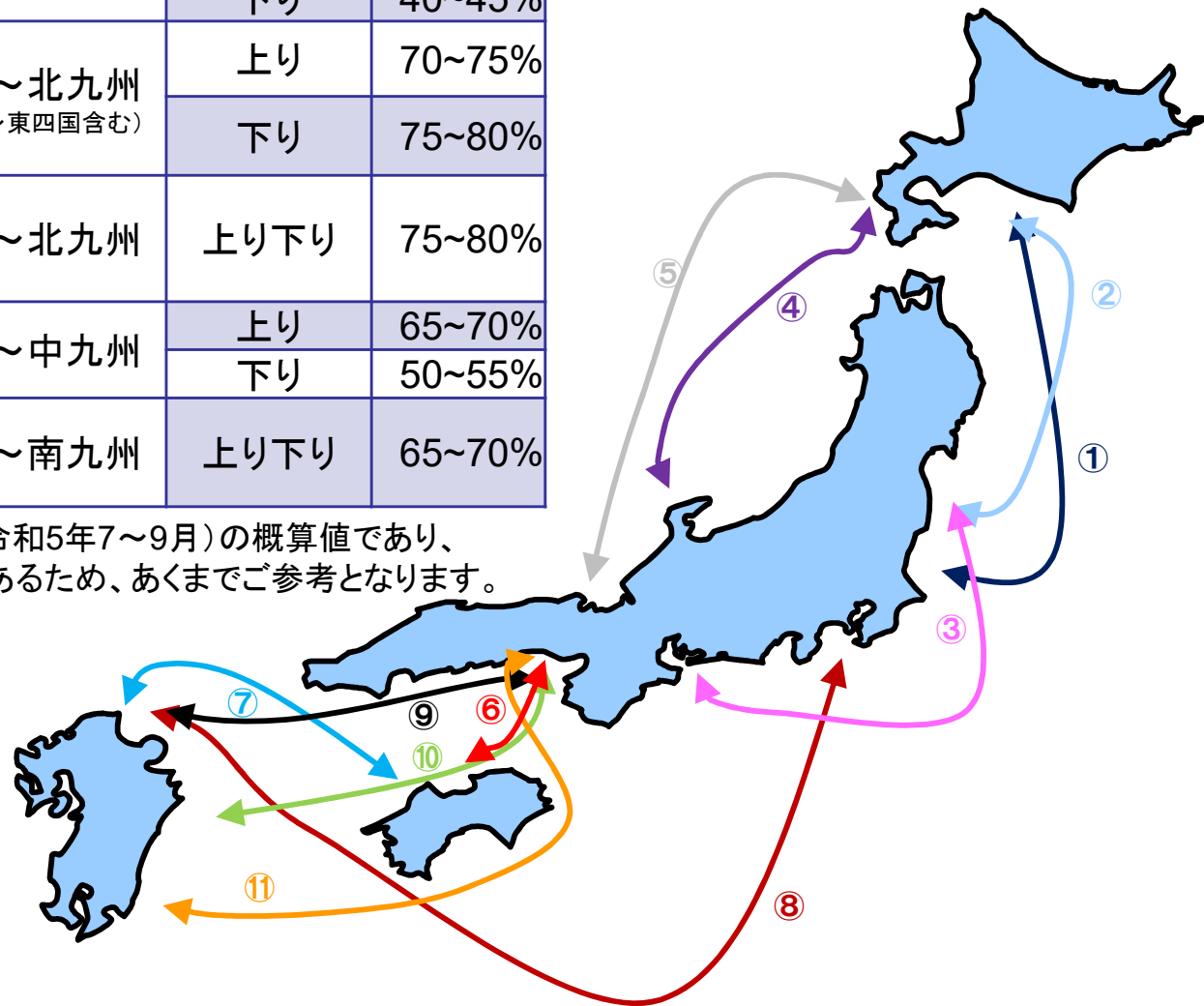
中・長距離フェリー航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査した。

【中距離フェリー航路: 片道の航路距離100km以上~300km未満で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

【長距離フェリー航路: 片道の航路距離300km以上で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

航路	上り/下り	積載率	航路	上り/下り	積載率
①北関東~北海道	上り	80~85%	⑦北四国~北九州	上り	30~35%
	下り	80~85%		下り	40~45%
②東東北~北海道	上り	80~85%	⑧京 浜~北九州 (一部、京浜~東四国含む)	上り	70~75%
	下り	85~90%		下り	75~80%
③中 京~東東北	上り	75~80%	⑨阪 神~北九州	上り下り	75~80%
	下り	80~85%		⑩阪 神~中九州	上り
④北 陸~北海道	上り	70~75%	下り		50~55%
	下り	70~75%	⑪阪 神~南九州	上り下り	65~70%
⑤阪 神~北海道	上り	60~65%			
	下り	55~60%			
⑥阪 神~北四国	上り下り	55~60%			

※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和5年7~9月)の概算値であり、実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。



RORO船航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査した。

航路	上り/下り	積載率
東東北～北海道	上り	60～65%
	下り	65～70%
北陸～北海道	上り	90～95%
	下り	80～85%
京浜～北海道	上り	80～85%
	下り	85～90%
京浜～東東北	上り	95～100%
	下り	95～100%
中京～東東北	上り	90～95%
	下り	70～75%
京浜～阪神	上り	85～90%
	下り	75～80%
京浜～北四国	上り	35～40%
	下り	75～80%
京浜～南中国	上り	80～85%
	下り	60～65%
阪神～南中国	下り	55～60%

航路	上り/下り	積載率
阪神～北四国	上り	80～85%
南中国～北四国	下り	55～60%
北陸～北九州	上り	25～30%
	下り	50～55%
京浜～北九州	上り	70～75%
	下り	80～85%
中京～北九州	上り	80～85%
	下り	75～80%
阪神～北九州	上り	35～40%
	下り	60～65%
京浜～南九州	上り	85～90%
	下り	85～90%
阪神～南九州	上り	80～85%
	下り	75～80%

※今回の調査はRORO船事業者のうち、現時点で協力が得られた一部事業者の数値を公表しています。

※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和5年7~9月)の概算値であり、実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。